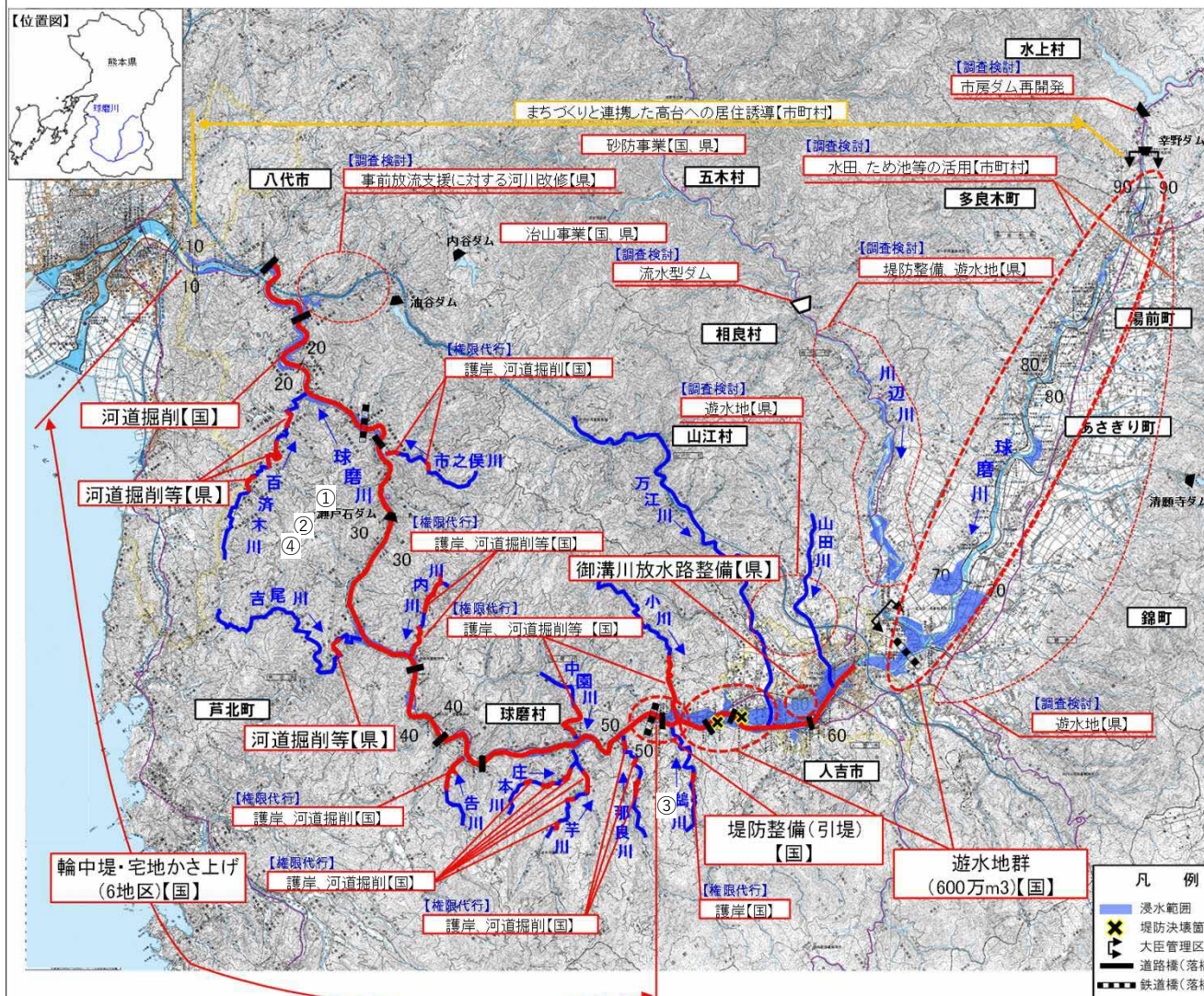


# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34

## 球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

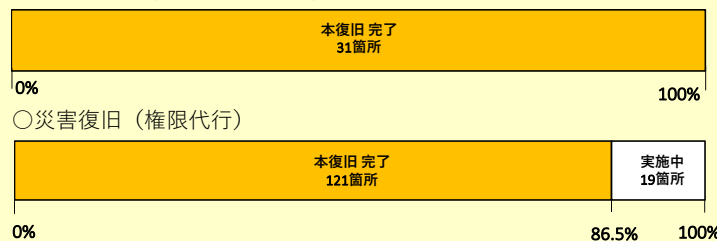
※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む



【ハード対策の進捗状況】 令和4年9月末時点

- ①河道掘削  
令和3年出水期まで：約70万m<sup>3</sup>掘削完了  
令和3年出水期以降：約102万m<sup>3</sup>掘削完了、引き続き推進を図る
- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）  
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査中
- ③引堤（延長約600m）  
地元協議中、地質調査実施中、用地調査実施中
- ④遊水地（調節容量約600万m<sup>3</sup>）  
地元協議中

○災害復旧（堤防決壊を含む）



最近の動き



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて  
八代河川国道事務所HPで進捗状況を公表中▶

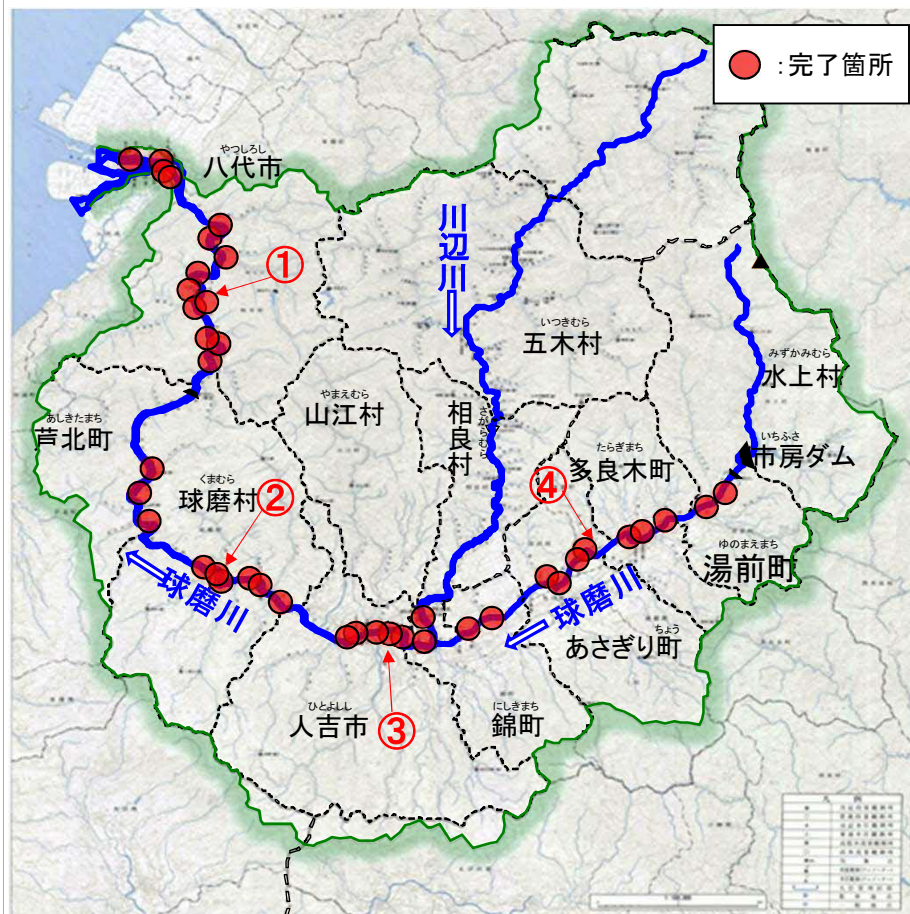




# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34

## 河道掘削の進捗状況について

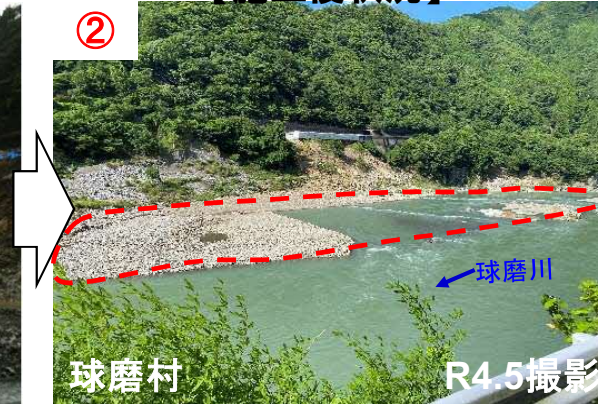
- 球磨川河道内の掘削を行っており、令和4年9月末現在約172万m<sup>3</sup>を撤去。
- 引き続き、河道掘削を推進していく。



【施工前状況】



【施工後状況】



【施工前状況】

【施工後状況】





# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



## 護岸等の災害復旧状況について

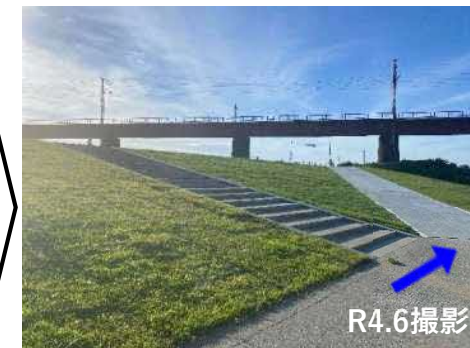
○令和2年7月豪雨により被災した護岸等の被災29箇所について、令和4年出水期までにすべて完了。



### 【被災状況】



### 【復旧完了】



### 【被災状況】



### 【復旧完了】





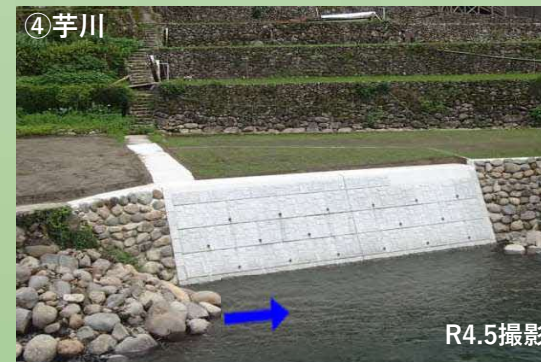
# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.〇

## 護岸被災等の復旧について（権限代行区間）

- 権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万 $m^3$ の土砂掘削を完了。
- 護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所の全箇所に着手し、令和4年度末までに完了予定
- 令和4年7月9日の大雨により、工事実施後の護岸8か所において、被災を確認。応急復旧は完了しており、今回被災した護岸の本復旧も含め、令和4年度末までに完了予定



【施工完了】



## 【令和4年7月9日の大雨による被災状況】





# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



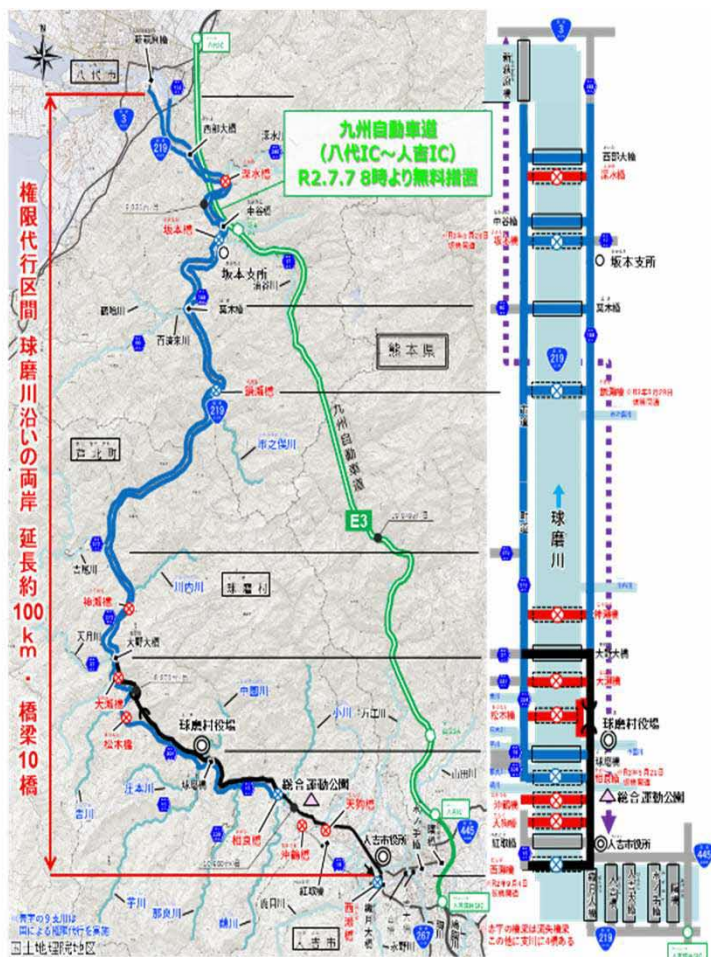
## 第5回球磨川橋梁復旧技術検討会について

○令和2年7月豪雨により流失した球磨川に架かる橋梁の早期本復旧に向け、球磨川橋梁復旧技術検討会を開催。

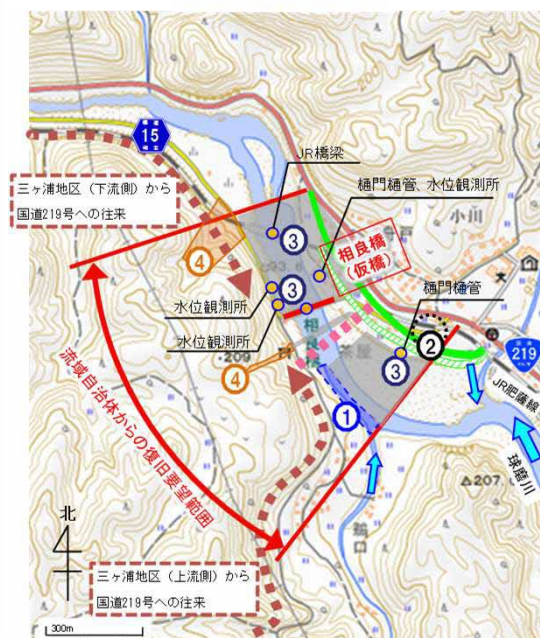
第1回検討会（R3.6.24）では、橋梁が流失した仕組み（被災原因）や復旧コンセプト等の検討を実施。

また、第2回検討会（R3.7.30）及び第3回検討会（R3.9.15）では、橋梁の復旧位置を決定した。そして、第4回検討会（R3.12.16）では、相良橋を除く各橋（深水橋、坂本橋、鎌瀬橋、神瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋）の橋梁形式、天狗橋や西瀬橋の復旧方針が決定した。

○令和4年7月29日に第5回検討会を開催し、相良橋の復旧位置、橋梁形式について了承された。



【復旧位置】



【球磨川に架かる橋梁イメージ】  
相良橋【鋼2径間連続トラス橋】



※色彩については今後、関係者と協議の上決定する。

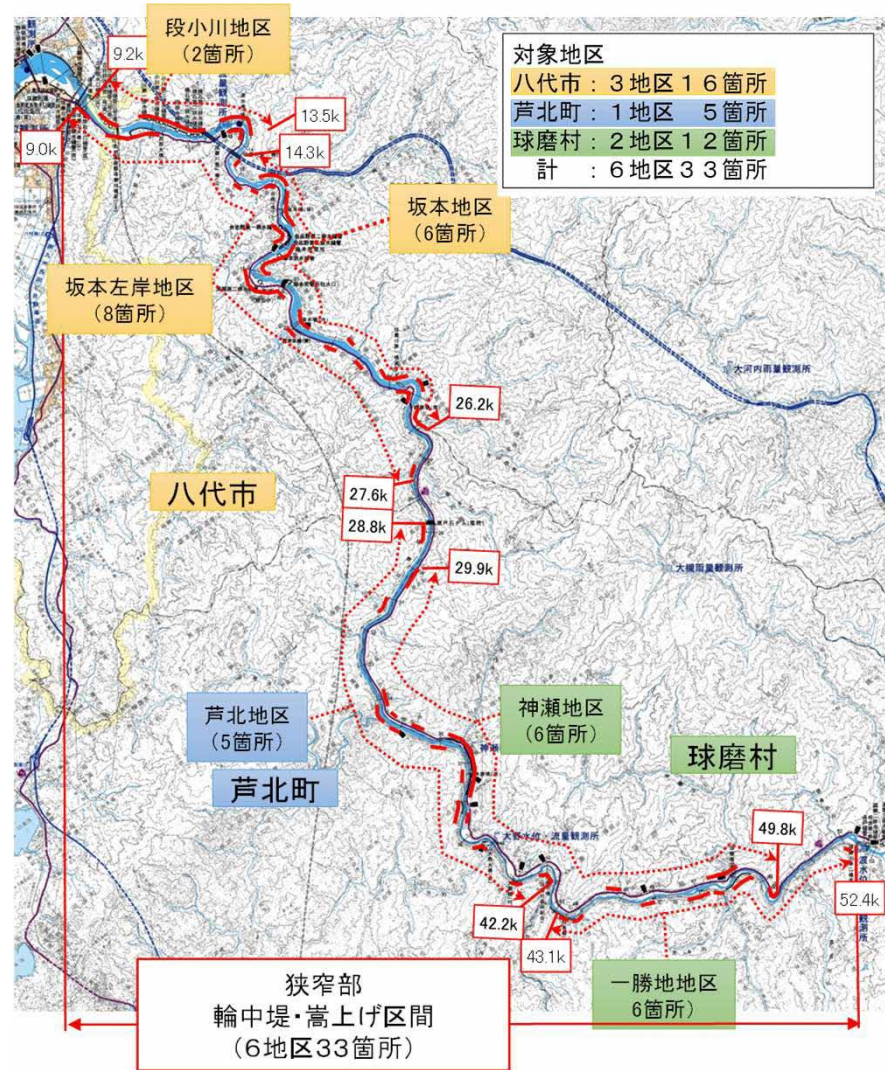


# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



## 輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況について

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年3月から順次開催し、地域との合意形成に努めている（3市町村 計89回開催 ※9月末時点）。
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（家屋敷高調査等）を行い、現在、測量・地質調査等を実施中
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



※地図上の範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す



説明会の状況 (R4.9.6)  
【八代市原女木地区】



説明会の状況 (R4.9.12)  
【芦北町白石地区】



地質調査状況 (R4.9.26)  
【八代市藤本地区】



地質調査状況 (R4.9.12)  
【球磨村淋地区】



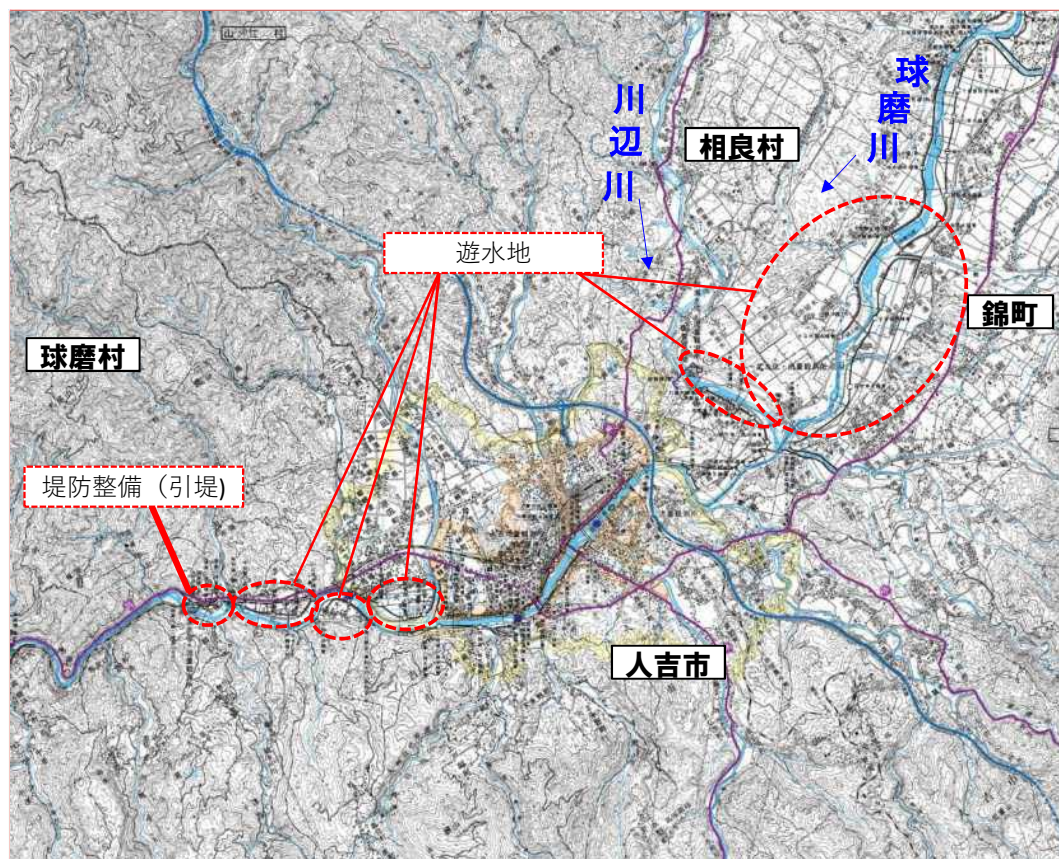


## 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



## 引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤・遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催。  
(4市町村 計27回開催 ※9月末時点)
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査(測量等)を行い、現在、用地測量、地質調査を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

## 令和4年の説明会等実施状況



事業説明会(R4.3.21)  
【球磨村渡地区】



事業説明会(R4.3.11)  
【人吉市中神地区】



用地調査の状況(R4.8.30)  
【球磨村渡地区(遊水地)】



地質調査の状況(R4.9.27)  
【人吉市中神地区(遊水地)】



## 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



## ソフト対策の取組状況～平時からの住民等の防災意識醸成～

## ■令和3年度からの各教育機関での出前講座および学校教育への支援

- 令和2年7月豪雨の概要や、流域治水対策プロジェクトの説明を行い、流域全体での取り組みを学習してもらう。
- 「避難するために必要な情報」や避難時に潜む「用水路等の災害のリスク」を考え、避難時の自助・共助の意識を高める。
- 防災に関わる授業単元への支援を目的に、学校の先生方を対象とした教育資材の紹介・提供を行うことにより、防災や避難時の自助・共助について学校の授業で展開され正確な理解につなげる。

熊本高専(5年生)への防災教育  
(R3.10.4)八代高校(1年生)への防災教育  
(R4.6.17)人吉球磨理科教育研究会での研修  
(R4.8.17)



# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.34



## 流域治水への理解促進や住民参加のための説明会

令和2年7月豪雨以降、八代河川国道事務所では円滑な事業進捗や住民の方への事業の理解促進に向け、事業に関する住民説明会を随時実施している。

また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトに関連して、各自治体が開催する事業説明会やまちづくり懇談会に積極的に参加することで、地域の意見をお聴きして事業に反映し、円滑な事業進捗につなげている。

更に幅広い年代に球磨川流域への理解、防災意識を醸成して頂くための取り組みとして、流域の学校を対象に河川環境教育・防災教育に取り組んでいる。

各説明会等実施状況（令和4年9月末時点）

### ■流域治水に関する説明会・懇談会（R3.2月～）

◇開催・参加回数 171回

◇のべ参加人数 4,897名

年度毎の開催状況

令和2年度：計17回 のべ777名参加

令和3年度：計113回 のべ3521名参加

令和4年度：計41回（のべ599名）参加（※令和4年9月末時点）

自治体毎内訳

八代市 82回 芦北町 12回 人吉市 25回

球磨村 38回 その他 14回

### ■河川環境教育・防災教育（R2.7月～）

◇開催回数 22回

◇のべ参加人数 819名

年度毎の開催状況

令和2年度：計4回開催 のべ118名参加

令和3年度：計13回開催 のべ509名参加

令和4年度の開催状況

（防災教育）令和4年6月17日 八代高校 25名参加

（環境教育）令和4年7月21日 川の安全教室（福島保育園）23名参加

（防災教育）令和4年8月17日 人吉球磨理科教育研究会 20名参加

（環境教育）令和4年9月9日 水生生物調査（相良南小学校）30名参加

（環境教育）令和4年9月11日 川の安全教室（東間小学校）94名参加



事業説明会の様子  
（球磨村）



環境教育の様子  
（水生生物調査）



防災教育の様子  
（フィールドワーク）